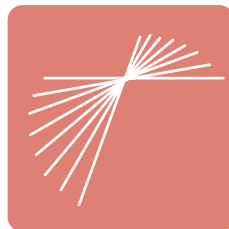


第123期 中間事業報告書

2004年12月1日から2005年5月31日まで



株式会社 不二越

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

第123期中間期(2004年12月1日から2005年5月31日まで)の事業の概況についてご報告いたします。

経済環境

当中間期のわが国経済は、自動車、産業機械業界の堅調な生産と設備投資を背景に、引き続き回復傾向にありましたが、一方で、世界的な原油・原材料価格の高騰など、警戒を要する状況になってまいりました。また、アメリカではBIG3をはじめとした製造業の低調、中国の金融引き締め策の影響等により、減速傾向も懸念されます。

経営の経過および成果

このような状況のもとで、当社グループは、複合・連環型の事業のシナジーを活かして「ナチビジネス」を展開し、営業、製造、開発の各面で成長機会開発型の経営を推しすすめてまいりました。また、国内外の拠点において、生産方式・設備の近代化をすすめ、生産性の改善、供給能力の増強にとり組み、自動車や産業機械業界の旺盛な需要に対して、高い機能・精度と信頼性のある商品・技術を提供してまいりました。

この結果、当中間期の売上高は、848億円と前年同期に比べ9.3%増加いたしました。このうち、国内向けの売上高は610億円(前

年同期比8.3%増)、海外売上高は238億円(同11.9%増)であります。

利益面につきましては、原材料価格の高騰や固定費の増加の影響がありましたが、売上・生産の増加による操業度の向上に加え、生産性の改善をはじめとしたトータルコストの低減にとり組みました結果、当中間期の経常利益は55億円と、前年同期に比べ19億円の増益(同54.4%増)となりました。これに、特別損失として固定資産売却・除却損等を計上し、中間純利益としましては28億円となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、その実施を見送らせていただきたいと存じます。

事業分野別にみますと、機械工具事業の売上高は、日系自動車業界の好調な生産、設備投資を受けて、精密工具や工作機械、ロボットが拡大しました。また、産業機械・市販向けのラウンドツールが伸長し、機械工具事業トータルとしましては310億円(同5.0%増)となりました。

部品事業では、自動車、産業機械業界向けの高機能ベアリング、油圧機器、カーコントロールバルブの需要拡大に対して、国内をはじめ世界三極で生産体制を強化し、売上高は443億円(同12.1%増)となりました。

また、材料その他事業では、高級特殊鋼や熱処理装置が伸長し、売上高は94億円(同11.0%増)となりました。

今後の取り組み

今後の見通しにつきましては、自動車や産業機械業界が引き続き堅調に推移することが予想されますが、エネルギー・資源問題や、世界経済の減速懸念など、経営をとり巻く環境は予断を許さない状況にあります。

こうしたなかで、当社グループといたしましては、営業、製造、開発、人材のあらゆる面で開発型の経営を推しすすめ、安定した収益基盤の確立をはかるとともに、一層の利益成長に努めてまいります。そして、世界のものづくりの分野で信認される「ナチブランド」を確立し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも変らぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2005年8月

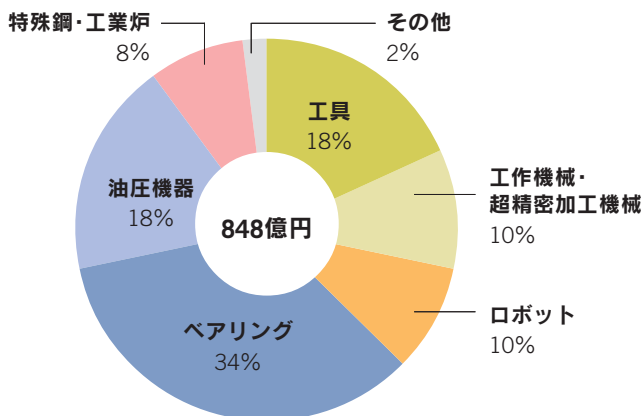
代表取締役社長

井村健輔

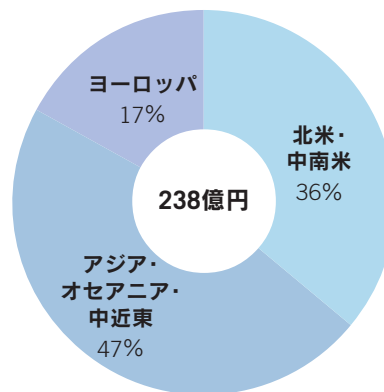


業績の推移

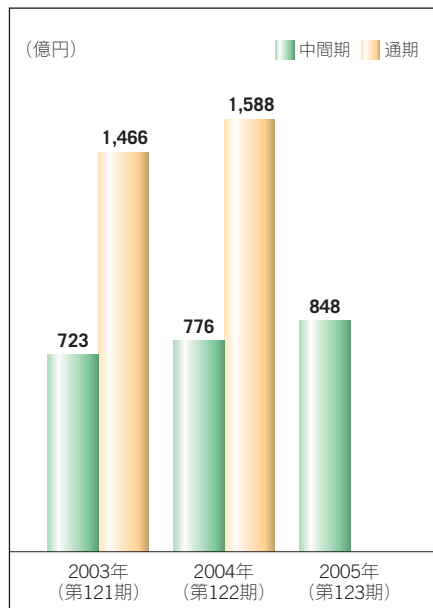
商品別の売上高(連結)



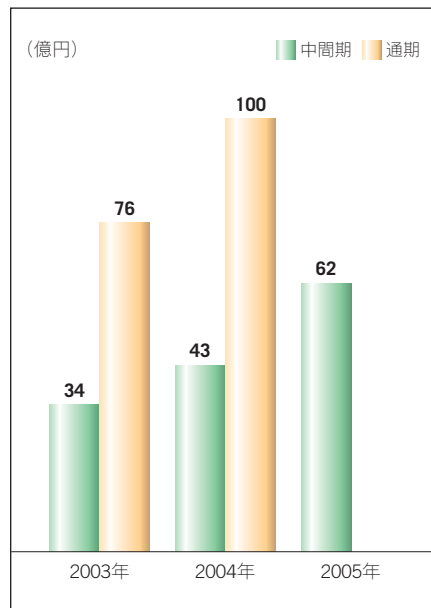
地域別の海外売上構成



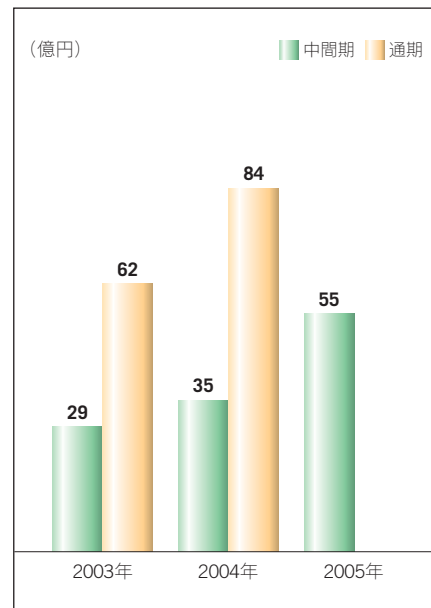
売上高



営業利益



経常利益



中間連結決算の概要

中間連結貸借対照表の要旨

(単位 百万円)

科 目	当中間期 (2005年 5月31日現在)	前中間期 (2004年 5月31日現在)
(資 産 の 部)		
流 動 資 産	75,290	70,673
現金及び預金	9,129	9,891
受取手形及び売掛金	34,806	31,893
たな卸資産	26,778	23,588
その他	4,577	5,299
固 定 資 産	77,625	74,739
有 形 固 定 資 産	59,422	56,156
建物及び構築物	17,544	15,626
機械装置及び運搬具	32,641	30,789
土地	6,978	7,631
その他	2,258	2,109
無 形 固 定 資 産	1,633	1,963
投資その他の資産	16,569	16,619
投資有価証券	12,849	12,158
その他	3,719	4,460
資 産 合 計	152,916	145,413

科 目	当中間期 (2005年 5月31日現在)	前中間期 (2004年 5月31日現在)
(負 債 の 部)		
流 動 負 債	80,005	82,474
支払手形及び買掛金	34,080	30,324
短期借入金	29,085	39,318
未払費用	8,062	5,499
その他	8,777	7,331
固 定 負 債	32,286	32,577
社債及び長期借入金	19,790	18,806
退職給付引当金	9,328	9,622
その他	3,167	4,148
負 債 合 計	112,291	115,051
少 数 株 主 持 分	603	599
(資 本 の 部)		
資 本 金	16,074	13,346
資 本 剰 余 金	11,426	8,727
利 益 剰 余 金	14,573	10,583
その他有価証券評価差額金	3,913	3,469
為替換算調整勘定	△ 5,865	△ 6,290
自己株式	△ 102	△ 74
資 本 合 計	40,020	29,762
負債、少数株主持分及び資本合計	152,916	145,413

中間連結損益計算書の要旨

(単位 百万円)

科 目	当中間期 (2004年12月 1日から 2005年 5月31日まで)	前中間期 (2003年12月 1日から 2004年 5月31日まで)
売 上 高	84,890	77,680
営 業 利 益	6,215	4,342
経 常 利 益	5,543	3,591
特別利益	157	10
特別損失	856	493
税金等調整前中間純利益	4,844	3,108
中 間 純 利 益	2,831	1,853

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位 百万円)

科 目	当中間期 (2004年12月 1日から 2005年 5月31日まで)	前中間期 (2003年12月 1日から 2004年 5月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,882	4,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,158	△ 3,320
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,548	△ 2,230
現金及び現金同等物の増減額	△ 4,817	△ 859
現金及び現金同等物の期首残高	13,191	9,844
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,373	8,985

中間単独決算の概要

中間貸借対照表の要旨

(単位 百万円)

科 目	当中間期 (2005年 5月31日現在)	前中間期 (2004年 5月31日現在)
(資 産 の 部)		
流 動 資 産	50,942	45,629
現金及び預金	5,594	5,897
受取手形及び売掛金	26,678	24,401
たな卸資産	15,079	12,008
その他	3,589	3,323
固 定 資 産	75,624	72,644
有 形 固 定 資 産	43,115	41,050
建物及び構築物	12,916	11,477
機械装置及び運搬具	23,485	22,608
土地	5,119	5,426
その他	1,593	1,537
無 形 固 定 資 産	390	301
投 資 そ の 他 の 資 産	32,118	31,292
投資有価証券	11,977	11,263
子会社株式及び出資金	16,030	15,044
その他	4,109	4,984
資 産 合 計	126,566	118,274

科 目	当中間期 (2005年 5月31日現在)	前中間期 (2004年 5月31日現在)
(負 債 の 部)		
流 動 負 債	61,938	63,502
支払手形及び買掛金	34,615	31,077
短期借入金	15,188	24,498
未払費用	5,749	3,859
その他	6,384	4,067
固 定 負 債	24,929	23,276
社債及び長期借入金	15,864	13,524
退職給付引当金	7,774	8,569
その他	1,290	1,181
負 債 合 計	86,868	86,778
(資 本 の 部)		
資 本 金	16,074	13,346
資 本 剰 余 金	11,426	8,727
利 益 剰 余 金	8,474	6,098
株 式 等 評 価 差 額 金	3,807	3,380
自 己 株 式	△ 85	△ 58
資 本 合 計	39,698	31,495
負 債 及 び 資 本 合 計	126,566	118,274

中間損益計算書の要旨

(単位 百万円)

科 目	当中間期 (2004年12月 1日から 2005年 5月31日まで)	前中間期 (2003年12月 1日から 2004年 5月31日まで)
売 上 高	69,784	62,739
営 業 利 益	4,723	2,819
経 常 利 益	4,340	2,409
特別利益	70	19
特別損失	360	479
税引前中間純利益	4,050	1,949
中 間 純 利 益	2,525	1,141
前期繰越利益	3,395	2,404
中 間 未 処 分 利 益	5,921	3,545

トピックス

● 新商品

ハードブローチ&ブローチ盤

高硬度部品のブローチ仕上加工システム



自動車用歯車
の加工例



● 新工場・施設

富山事業所にロボット第二工場を新設



大型ガラス基板
搬送用ロボット



不二越本館がリニューアルオープン



● モノづくり部品大賞「機械部品賞」を受賞



高精度エンドミル
「モールドマイスターボール」



● テレビ取材・見本市



NHKクローズアップ現代
「広がる製造業の派遣」
(12月7日放映)



ブルームバーグTV
「2005年度決算見通しに
ついて」(1月28日放映)



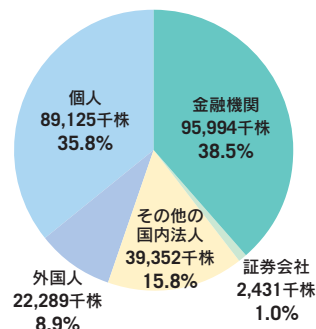
BEARING2005(中国・上海
国際展示場)に出展

株式の状況 (2005年5月31日現在)

発行済株式の総数 249,193,436株
 株主数 32,780名
 大株主(上位7名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	16,470	6.61
トヨタ自動車株式会社	13,182	5.29
株式会社UFJ銀行	11,159	4.48
ナチ不二越従業員持株会	10,731	4.31
那智わねい持株会	10,019	4.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,047	3.63
バンクオブニューヨーク・ロップパリティッドルクセンブルグ	7,459	2.99

所有者別株式分布



役員 (2005年8月現在)

代表取締役社長	井村健輔	常務取締役	柴功安	取締役	伊藤正夫
取締役副社長	明石光生	常務取締役	野見山諭	取締役	髭右近正幸
取締役副社長	本間博夫	取締役	伊東承平		
常務取締役	笠原英紀	取締役	石黒健治	常勤監査役	中野直人
常務取締役	長尾正弥	取締役	佐々木誠	常勤監査役	佐口厚為
常務取締役	田中幸彦	取締役	寺越秀夫	監査役	井崎邦為
常務取締役	飛弾野文英	取締役	中河清	監査役	福島栄一

会社の概要 (2005年5月31日現在)

設立 1928年12月21日
 資本金 160億円
 従業員数 2,559名(グループ人員 5,297名)
 営業項目 特殊鋼工具、超硬工具、精密金型、工作機械、超精密機械、ロボット、ロボットシステム
 ボールベアリング、ローラーベアリング、油圧機器、カーコントロールバルブ、免震システム
 特殊鋼、工業炉、コーティング

主な国内事業所

富山本社	富山市不二越本町1-1-1 〒930-8511	☎076 (423) 5111
東京本社	東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル17F) 〒105-0021	☎03 (5568) 5111
東日本支社	東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル17F) 〒105-0021	☎03 (5568) 5280
中日本支社	名古屋市名東区高社2-120-3(ナチ名古屋ビル) 〒465-0095	☎052 (769) 6811
西日本支社	東大阪市本庄西2-73-14(ナチ大阪ビル) 〒578-8522	☎06 (6748) 2510
富山事業所	富山市不二越本町1-1-1 〒930-8511	☎076 (423) 5111
	[工具・工作機械 ロボット ベアリング]	
東富山事業所	富山市米田町3-1-1 〒931-8511 [特殊鋼]	☎076 (438) 4411
	富山市中田3-2-1 〒931-8453 [油圧機器]	☎076 (438) 8970
滑川事業所	滑川市大掛176 〒936-0802	☎076 (471) 2101
	[プレジジョン カーハイドロリクス クリーンサーモ コーティング 精密成形]	

株主メモ

決算期	11月30日
定時株主総会	2月
配当金受領株主確定日	11月30日(中間配当を行なう場合は5月31日)
名義書換代理人	中央三井信託銀行株式会社 〒105-8574 東京都港区芝3-33-1
同事務取扱所	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4 ☎ 03 (3323) 7111 FAX 0120-87-2031
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店、全国各支店
株式名義書換手数料	無料
ホームページアドレス	http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/

単元未満株式の買い増し請求のご案内

2005年2月21日より、「単元未満株式の買い増し制度」を導入しました。単元未満株式(1,000株未満)をご所有の株主様が、1単元の株式の数(1,000株)にするための不足分を買い増しいただける制度です。

お手続きの詳細につきましては、左記の名義書換代理人までお問い合わせください。(株券保管振替制度をご利用の場合は、お取引の証券会社にお問い合わせください。)

不二越、不思議。Art in NACHI

わくわくする技術、それはアート。

“Art”を辞書でひくと 芸術、技術、技芸という意味があります。
鍛え抜かれた肉体、高い精神から創り出される“技(わざ)”。演じるすべてがアートでありたい。
造る、回す、走る技術。something(何か)を生み出す“ものづくりの不二越、不思議。”
私たちは Art in NACHI を提案してまいります。

NACHI